

清水 早苗 プロフィール

クリエイティブディレクター
ファッションジャーナリスト
デザインディレクター&コーディネーター、コンサルタント
文化ファッション大学院大学 武蔵野美術大学 非常勤講師
シルクものづくり市町村協議会顧問
株式会社 しんか 代表取締役
2010-12年 毎日ファッション大賞審査委員

1952年 東京生まれ
1971年 東洋英和女学院高等部卒業
1975年 立教大学文学部フランス文学科卒業

大学在学中(1973年)より、雑誌「アンアン」にてスタイリストの仕事をはじめ。

卒業後、パリ留学を経て雑誌「クロワッサン」の創刊に参加。

以後、雑誌、通販、ファッションカタログ、広告を中心にスタイリスト、マガジンハウスにおいて、ファッションタイアップの編集、「マリ・クレール」、「エル・ジャポン」などのファッションエディター、千趣会の通販カタログ制作のアドバイス、日本橋三越のフルーツコーナーのディスプレイとラッピングのアドバイスなどを行う。

1991年より、アートディレクターとして、ワコールのライセンスブランド、「カール・ラガーフェルド」の雑誌広告、およびカタログ制作をてがけ、ラガーフェルド氏より高い評価を得て、6年間継続する。また、同氏の協力により、1994年、青山のスパイラルガーデンにて、「カール・ラガーフェルドのデザイン画展」(ワコール主催)を開催。企画に加え、アートディレクターとして、キュレーションと空間デザインを担当。デザイン画にコスチュームを交え、照明、音響を加えた展示が好評を博し、多くの観客を集める。

他方、1986年に朝日新聞社・広告局発行の「風」にて、雑貨についてのコラムとファッション情報を連載したことがきっかけとなって、執筆活動が本格化していく。

1990年よりパリコレクションに、年2回~4回定期的に行くようになってからは、ファッションの動向に関する記事を多数執筆。

1995年より、約4年間、「デザインの現場」(美術出版社)のファッションディレクターとして、国内外の大御所、あるいは先鋭的なデザイナー達へのインタビュー、取材を通しファッションにおけるデザイン性、アート性などについて、多角的に紹介、評論する。

「美術手帖」(1999年6月号)が、初めてファッションを特集した際は、全体的なアドバイスとともに、「ファッションを変えた3人」と題して、三宅一生、川久保玲、山本耀司に関する特集の構成・文を担当。

1998年から2年間、共同通信において、コラム「ファッションプリズム」を毎週連載し、かつてないほどの掲載率となり、100回を数えた。また、ファッションの多面性、奥行きを多くの人々に理解してもらうため、テレビ媒体にも積極的に企画提案を行う。

2000年5月放送のNHK「新・日曜美術館」における「三宅一生展」を監修。

2001～2年は、念願の番組、NHKスペシャル「世界は彼女の何を評価したのか～ファッションデザイナー川久保玲の挑戦～」(2002年1月12日放送)と、ハイビジョンスペシャル「美の変革者が語り始めた」(2002年5月放送)を、企画から取材、インタビュー、編集までスタッフの一員として携わり、大きな反響を呼ぶ。

この番組をもとに、2005年「アンリミテッド：コムデギャルソン」を平凡社より出版する。他、「アクシス」「ハイ・ファッション」「産経新聞」などに執筆。

2003年より2006年まで、(財)日本ファッション協会にて、広報担当(非常勤)としてアジアに向けた日本のクリエイションの情報に携わる。アジアファッション連合会、発足会(2003年12月10日)の運営スタッフ及び広報担当。2004年11月19～25日、「チャイナファッションウィーク」の「ジャパンデイ」をコーディネイトし、永澤陽一、菱沼良樹などによるファッションショーを開催。

2004年には、ワコール向けに「RELAXTION PROJECT」(仮称)のプランニングとワコールのウエルネス事業部のブランド再構築のためのプロジェクトに参加
日商岩井の依頼により、ライセンスブランド「バレンシアガ」再構築のためのコンセプトとコンセプトブックを作成

2006年より、経済産業省支援のもと、独立行政法人 中小企業基盤整備機構 発行による日本の繊維・ファッションの創造性を国内外に発信する情報資料となる印刷物「SHIN=KA(しんか)」の2007版、2008版、2009版、加えて、川中支援事業の成果を紹介する「SHIN=ZUI(しんずい)」の編集責任・クリエイティブ・ディレクター・執筆。

「布 クリエーション展」(会場：東京国際フォーラム)における、キュレーション、会場デザイン、印刷物のコピー・デザイン、パネル編集などを総合ディレクターとして担当。糸から縫製までのプロセスと共に、中小製造業者が製作した布の展示、実演などを構成、展示する。

その後、2008年度、2009年度と、日本の繊維アーカイブの重要性と創造の源として活用することを訴求する「TEXTILE SPIRIT」事業の総合&クリエイティブディレクター、事務局運営。セミナーや若手デザイナーを対象とする産地で生地を制作し、衣服デザインをするワークショップにおいて、講師と産地のコーディネイトを行う。加えて、学生を対象とした産

地ツアーのコーディネイト及び引率。

テキスタイルとファッションの関係性を提示する「TEXTILE SPIRIT」展（場所：東京・青山 スパイラルホール）における、総合&アートディレクション。後日、経済産業省のエントランスホールにてダイジェスト版を展示する。

日本の繊維アーカイブを紹介する印刷物、「TEXTILE SPIRIT 2009」（独立行政法人 中小企業基盤整備機構 発行）の編集責任・クリエイティブディレクター。

執筆に関しては、「high fashion」（文化出版局）、「デザインの現場」（美術出版社）が休刊後は、「ミセス」「毎日新聞」「AXIS」「装苑 ONLINE」「ファッション スナップドットコム」など。東京コレクションを取材して、およそ 40 年。その間、上記のメディアにレビューを寄稿。また、フェイスブックやインスタグラムでも発信している。

2010～12 年度

- ・毎日ファッション大賞選考委員

2011-12 年

- ・（株）良品計画 Found Muji 青山店リニューアルに向けて、衣服と雑貨の企画・デザイン、及び、生産に携わる。
- ・21_21 デザインサイトにて、武蔵野美術大学 柏木博教授とトークイベント出演

2013-14 年

- ・（株）カタログハウスにおいてファッションカタログ創刊のため、プロデューサーとして、企画・デザイン及び、生産・カタログ制作に参画。
- ・共同通信社、ファッションヘッドラインのほか、執筆。

2016 年

- ・三宅一生氏のお声がけにより、『Creativity is Born 三宅一生再生 | 再創造』を制作。執筆・著作・クリエイティブディレクションを担当する。
 - ・主に装苑 の web サイトにおいて、東京コレクションの評論、「清水早苗の布をめぐるクリエイション」を不定期執筆など。
- また、web との可能性を探るべく、プログラミングを学ぶ。

2017 年

- ・文化ファッションテキスタイル研究所に蓄積された織物技術を採用したストールブランド「SAJYU（紗重）」のブランディング及びクリエイティブディレクション。ロゴ・パッケージデザインを深澤直人氏に依頼。
- ・「21 世紀鷹峯フォーラム 第 3 回 in 石川・金沢」の広報・web 担当 など。

2018 年

- ・4月11日より、無印良品のサイトにて、もわ萌亜のペンネームで、ブログ、

「チャン、チャン、チャレンジミニマルライフ！」の連載（5～7回）が始まる。

2018年

・12月中旬 共同通信から15回連載「エンジョイ、ファッション 清水早苗 From：ショールーム」の配信が開始される。

展示会などで気に入った服を自らモデルとなって着用し、写真を撮り、ブランドの紹介とともに着心地や着こなしを紹介する。「ファッションをもっと楽しみましょう」というメッセージを込められている。

【追記】上記外の主な仕事

1997年 トヨタ自動車デザイン部（本社・講堂）にて講演

1998年 伊藤忠ファッションシステム情報フォーラムにて講演

2000年 静岡ニューメディア研究会にて講演（静岡新聞・SBS静岡放送他主催）

2002年 バレンシアガ・ライセンスブランド再構築のためのコンセプトメイキングとコンセプトのビジュアルブック作成

「プリーツ プリーズ イッセイミヤケ 10周年記念」（エル・ジャポン）の小冊子を編集。翌年、フランス「ELLE」誌（3月3日号）に、掲載される。

2003年 社団法人日本アパレル産業協会主催による講演会、「コムデギャルソンの世界」を文化服装学園の遠藤記念ホールにて開催（受講者は2,500名に及ぶ）

2006年 フィンランド・ヘルシンキ ファッションウィークに招聘される。

2007年 ドイツ・ベルリン ファッションウィークに招聘される。

2008年 株式会社しんか 設立

2009年 日本経済新聞（12月2日夕刊）、伊藤忠商事ライセンスブランドのクリスマス広告において、「イマジン」を企画、コピーライティング

2010年 ニューヨーク校外、量販店・百貨店 視察旅行に参加

インドのApparel Promotion Councilの招聘により、5都市にて日本のファッションについてセミナーを行う。

2011年 八王子ファッション協議会にて講演

2012年 富士吉田商工会議所繊維部会にて講演

[人材育成関係]

2000年 ・東京デザイナー学院 特別クリエイティブコースのコーディネーター及び講師

2002年 ・ドレスメーカー学院ファッションデザイン科創設リーダーとして、カリキュラムを構築し、1年間、講師を勤める。

- 2006年 ・金沢美術工芸大学大学院 非常勤講師、2014年3月に、多忙のため辞退。
- 2008年 ・京都造形芸術大学 ファッションデザイン科、非常勤講師、多忙のため、1年間で辞退。
- ・武蔵野美術大学 空間デザイン学科 非常勤講師、現在に至る。
- 2012年 ・文化ファッション大学院大学 ファッションデザインコース 非常勤講師、現在に至る。